

報告事項 ア

土曜授業等推進フォーラムの概要について

土曜授業等推進フォーラムの概要について、別紙のとおり報告します。

平成27年2月9日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

土曜授業等推進フォーラムの概要について

平成27年2月9日
小中学校課

1 目的

土曜授業等実施支援事業の取組を進めているモデル地域による事例発表及び関係者によるパネルディスカッションを通して、土曜授業等に関する理解を深め、子どもたちの土曜日における教育環境の充実を図る。

2 主催 鳥取県教育委員会

3 日時 平成27年2月1日（日） 13:30～16:30

4 会場 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

5 参加者

参加を希望する市町村（学校組合）教育委員会・学校・PTA関係者等（計85名）

6 内容

(1) 事例発表

「土曜授業等実施地域の取組について」

<事例発表>

【事例発表の概要】

(南部町教育委員会)

○目的は、

- ・コミュニティ・スクールを活用した新しい学校づくり
- ・学校を核とした豊かな教育環境の創造
- ・真に「生きる力」の醸成

○キャリア教育を基盤とする「町に学ぶ」取組としての「まち科」

○心豊かな自律した子どもの育成をめざし、学校教育、社会教育、地域社会及び保護者・家族が一体となった取組の実施。

○他団体の行事との完全な日程調整は難しいが、県の示す基準日等により徐々に調整できる範囲は広がると考える。

○今後は、土曜授業等を保護者の学習機会ととらえた仕掛けが重要。

(伯耆町教育委員会)

○目的は、

- ・「地域とともにある学校づくり」の一層の推進
- ・子どもたちの土曜日をより豊かなものに

○「土曜授業」と「土曜日のお楽しみ」の実施

○学校教育・社会教育の連携によって、学校・家庭・地域社会が一体となって子どもの土曜日の過ごし方を考えるきっかけとなった。

○家庭教育支援の視点を取り入れた体験活動が実施できた。

○効果的に子どもや保護者に周知できる仕組みづくりが今後の課題。

(2) パネルディスカッション及び総括

「子どもたちの土曜日における教育環境の充実に向けて」

<パネリスト>

- ・日南町立日南小学校教頭：長田 修平 氏
- ・日南町立日南中学校教頭：安達 才智 氏
- ・南部町教育委員会教育長：永江 多輝夫 氏
- ・鳥取県PTA協議会理事：大呂 延幸 氏

<コーディネーター・講師>

- ・三鷹市教育委員会委員：貝ノ瀬 滋 氏（教育再生実行会議委員等）

【主な意見】

(日南小・中学校)

- 土曜授業等を突破口に学力向上を目指すとともに、土曜授業等を活用して体験学習の充実も図った。
- 塾の講師による授業やテストは、学力向上に向けて生徒や教員にとって刺激（追い風）となった。
- 親子でワークショップ等を行い、家庭教育へつなげる取組を進めた。

(南部町)

- コミュニティ・スクールの取組やこれまでの地域とのつながり、校長の理解が本取組を後押しした。
- 土曜開校をすることが地域への刺激となり、地域の教育に対する参画意識も高まる。
- 土曜授業等をとおして振替がとれる学校組織づくりを目指すとともに、「チーム学校」へと意識を変えていきたい。

(県PTA)

- 市町村の取組もまちまちであり、保護者の中には、その目的や取組が理解されていない現状がある。
- 保護者に対して積極的な情報発信をしていただき、土曜授業等の取組についてみんなで共有したい。
- 土曜授業等をとおして子どもたちには地域を意識して育ててほしいし、この取組に期待は膨らむ。

(講師)

- 少子高齢化、グローバル化等の様々な今日的課題の中で「タフな日本人を育てていく」ことが急務である。
- 土曜授業等は「何のためにするのか」を常に問うことが重要。
- 子どもとともに、大人にとっても学びの場（生涯学習）となる土曜授業等でありたい。
- 「志を果たしにふるさとへ帰ろう」、こんな人がいてもいいのではないだろうか。

【参加者の主な感想】

(市町村教育委員会)

- ともすれば型の中で動いている状況がある中で、目的のために何をするかという観点でしっかりと今一度取り組むよう振り返りたい。
- 2町の具体的な取組を知ることができ、大変参考になった。やはり、土曜授業等を実施することの趣旨をきちんと伝えていくことが協力への第一歩であることを強く感じた。
- 子どものためだけでなく、子に関わる、子とともに生活するすべての大人の問題であることがよくわかった。

(学校)

- 週5日制により土曜日を地域や家庭に返すことになったが、実施10年を経て受け皿としての地域や家庭の在り方を再考し、そこに学校や教育委員会が関わっていく機会にもなっていると思う。
- 学校の業務効率化、精選と保護者、関係機関、教育委員会、地域住民との連携がなければ、全員のためになる取組にはならないように思う。
- 県PTA協議会理事の本音の話がよかった。地域を知る活動、大切にする活動としての土曜授業等には大きな意義を感じた。

(保護者)

- 土曜授業等に関しての取組について、今後ももっと保護者・地域に近いところでお話が聞ける会が必要ではないかと感じた。
- 教職員に頼らない土曜日の学習が月に1～2回あってもよいと思う。
- 学校の多忙化やマネジメントについて大きな課題ですが、平日を見直すことは重要だと思う。見直して工夫して充実させてほしいです。